

新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもります。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせます。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放をちとります。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてます。

今週の紙面

◎本号は、2月6日号と2月13日号の合併号で8ページです。

- ◆合併に伴い、連載は週をずらして掲載します。
- 3面 パズル/詩・俳句/まんが ■4面 年金/女性史/人「性」/韓国から ■5面 憲法/バリア/ホット ■6面 核禁条約で宣伝/談話/料理/母の歴史 ■7面 浦添市長選/自然とあそぼう!

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです

五大栄養素(タンパク質、脂質、炭水化物、ビタミン、ミネラル)がバランスよく含まれる大豆



コメとの深い関係
日本列島には縄文時代の前から狩猟採集を中心とした時代が何万年もあり、弥生時代に中国から初めて稲が入ってきてコメを食べる文化が始まりました。コメを主食とする食文化は、東アジアや東南アジアで古代から稲作が行われ育まれたもので、その東端に日本も含まれています。



国分牧衛さんに聞く

東北大学名誉教授

豆腐、納豆、みそ…姿を変えて、さまざまなかたちで毎日の食卓に上がる大豆。作物としての不思議さ、面白さを、絵本を通じて子どもたちに伝えていく東北大学名誉教授の国分牧衛さんに話を聞きました。

いま、あらためて見直したい

大豆のはなし

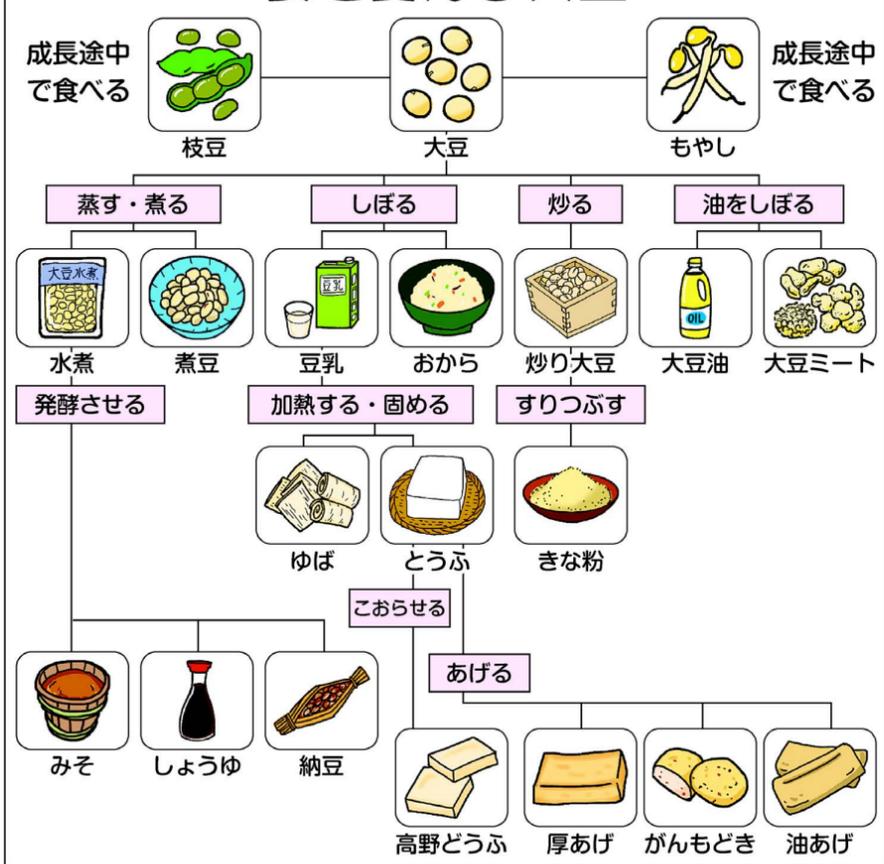
江戸時代になると精米技術が進歩し、玄米や雑穀中心の食事から都市部では白米が食べられるようになり、大豆の芽や糠に含まれていたビタミンやミネラルが不足してしまいました。「江戸わづらい」という言葉を聞いたことはありますか。「脚気」のことです。コメが主食になった日本では、不足するタンパク質やミネラル分を、大豆を中心とした食材で補う食文化が発達していきま

まれています。こうした地域では大豆も栽培され、さまざまな大豆食品が生まれてきました。大豆は、野生のソルマメを品種改良し、中国で4000年以上前から栽培されていたと考えられています。日本には朝鮮半島を通じて伝わってきたようです。大豆は、人の体に有益な成分を多く含む優れた作物です。タンパク質、脂質だけでなくビタミンやミネラルも豊富です。

栽培という面で、大豆には特別な力があります。豆類は、植物の成長に欠かせない窒素分を、根粒菌というバクテリアによって空気中から吸収することができ、この力は豆類以外持っていない。例えば、陸稲の栽培で土地が痩せてくる原因は窒素がなくなることで、3年間に1回くらい大豆などの豆類を土に入れます。そうすると大豆が吸収した窒素が土の中に残り、地力が維持されるのです。だから大豆は痩せた土地でも育つのです。

〈2面〉

姿を変える大豆



1・22 核兵器禁止条約発効!

お祝い行動全国で

1月22日、核兵器禁止条約が発効しました。核兵器が違法となった歴史的な日、新日本婦人の会は各地で多彩な行動を繰り広げました。〈6面へ〉



大分 ポスター掲げて元気にスタンディング (別府支部)



東京 世界地図に批准国51の国旗をつけて宣伝(練馬支部)



埼玉 ピアノ、ウクレレも登場、楽しいお祝い行動に。署名も22人分(春日部支部)

